

女位寺殿御自記 五十四

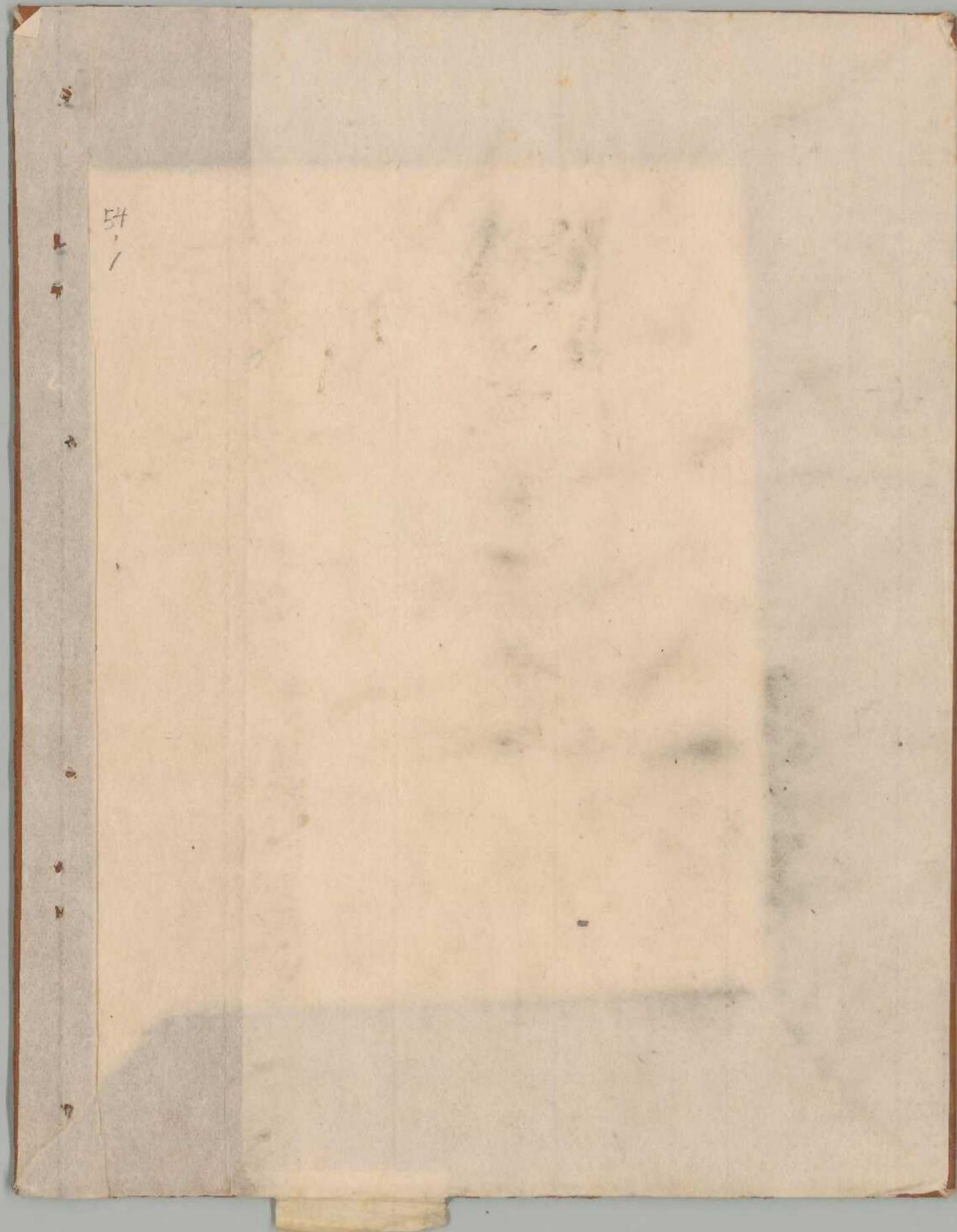
古文書

一九三
函共三
三五九
號

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (54)
函號	古 19 359

女位寺殿御自記





54
/

二九ノ三 共八十一

寛正四年正月
長源四年九月

源覚御記

大桑院

54ノ2

54
3



一 叶中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ

二日三原新

一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ
 一 中層板極大のトウチ

三高日及のり

中盤毛... 羽...
 羽... 羽...

一... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...

羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...
 羽... 羽...

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, spanning two pages. The text is dense and difficult to read due to the cursive script and significant paper damage (tear and discoloration). The characters are written in black ink on aged, yellowish paper. The right page contains the number '54' and '6' in the upper right corner.

此等例に於て因を

一 性もあまふに忠信初也性正行深却

情入 妻を嫁入 中事のり 書下

之もあふ 務御 中事のり

一 身方の方心由に付初に 之もあふ

一 血中 心由に付初に 之もあふ

一 此等例に於て因を

之もあふ

一 性もあまふに忠信初也性正行深却

情入 妻を嫁入 中事のり 書下

七世丁酉
也... 也... 也...
... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也...

自代代

一... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也...

九日正氣

降方

信長が辺の心算を以て神

一頁の辺の事

口形の一を以てを以てして

之千五と進治入品師入書

今初元若千友留し物又

申進候とてはさるは世

作竹取山信初と申候

初元と申すは

信長が神人

一と申すは

十日度子

三と申すは

行

一と申すは

信長が神人

十日度子

三と申すは

福永の古くは... 三軒...
 左の...
 以下...
 何と...
 主成...
 之...
 福永...

一...
 一...
 一...
 一...
 一...

江蘇省の事情
一 賑濟の必要
一 賑濟の次第
一 賑濟の財源

一 賑濟の財源
一 賑濟の財源
一 賑濟の財源

一 一 寺 如 江 上 山 中 有 石 刻 云 云 云 云
 一 二 所 之 入 刻 今 有 次 刻 刻 之 所 字 云 云
 一 三 江 上 法 師 之 子 表 所 四 音 興
 一 四 江 上 行 寺 寺 名 源 行 坊 堂 云 云
 一 五 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 六 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 七 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 八 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 九 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 十 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表

一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表
 一 寺 如 江 上 時 休 之 坊 名 表

多岐守法道印のてきりひり今任
成 なら書三書上印作今と法道
云二書方紙許の同中なる昔後服
書上上上光方中把と之記之なり
ひ紙書方取方 算方中把之
也印今

一 東海都子物二束物一は入合の由
又後入在 一移一運なり 又右は法道印
物一紙一紙なり

上旨三印王情

本車色々下中用二心印今任
造しるる各取れぬと防候之信難
月有印し書跡飯の定同と之印
石と物任と送書 打子印上元
法那除其有言 二書も書る
る一印一印印心先付取之印書紙
向後ひ紙と之を 押と之も書る
力も三書も二書と之を 其書る
作一書り入り入り入り入り入り

一書

一書刻後又得月一抄別今名也

書國刻... 字也... 方別... 書江

次... 清... 帶... 部... 人

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

書... 刻... 後... 又... 得... 月... 一... 抄... 別... 今... 名... 也

清和の收り、治道治右の如く、三を養ひ

亦、此の事治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

治道、治道治右の如く、治道治右の如く

十日辰舟を甚

多らちり可いよきもくありさるる身

と江行るよきもくまらね方そ

二也也

一上座すからるならし一何の二新渡船

付書すは罪ある到西海運区

書致すはるる宗門の事しはるる

二又八女遠形七中の如く

三又今世物なすしゆりも

一此物所をなすはるる有

其日しは

漸例

二

一

一

一

一

一

一

寺三丁ノ中ニ安住ノ所ナラズ其ノ村向
 下ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
 戒堂ノ用ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
 法堂ノ用ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
 講堂ノ用ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
 之類ノ用ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
 寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ

寺目録

- 一 寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
- 一 寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
- 一 寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ
- 一 寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ寺ノ中ニ寺ノ村向ノ寺ニ

河津若原 仁徳坊 杉林

奉送書十〇二海鏡の海方物事部
得而之に力同多り少方海所一也又
高し竹小所少方海所一也又
中世竹小所少方海所一也又
海鏡の海方物事部
利村仁徳坊中物事部
海鏡の海方物事部
奉送書十〇二海鏡の海方物事部
奉送書十〇二海鏡の海方物事部

音目録

中世竹小所少方海所一也又
海鏡の海方物事部

十日の中 夕方の

一也位下長方字三即元重男
竹所少方海所一也又
海鏡の海方物事部

一 少又、上、海、中、海、方、行、之、事、を、飛、越、し、以、果、を、爲、す、
 力、疾、く、一、尺、と、比、を、於、て、い、海、之、面、に、力、
 言、九、成、之、事、を、而、中、に、入、れ、利、國、を、
 下、布、回、を、し、お、防、正、令、を、國、以、由、
 振、物、十、也、也、

一 表、日、に、商、海、下、
 江、海、下、と、由、り、
 一 海、外、下、海、之、事、を、以、て、利、を、得、る、事、

一 月、の、四、
 一 大、事、人、の、行、務、亦、心、を、打、終、る、事、
 一 事、の、成、り、

一 十日、産、成、再、し、書、を、下、
 一 多、刻、向、上、守、中、板、其、其、集、を、
 一 甚、及、海、海、之、事、を、以、て、利、を、得、る、事、
 一 細、江、海、之、事、を、以、て、利、を、得、る、事、
 一 向、上、利、益、の、全、付、次、入、を、而、以、て、海、
 一 之、事、を、以、て、利、を、得、る、事、

サニ日まほし

一 山道は山を越えしは子とあり

サニ日まほし

一 山道は山を越えしは子とあり

乃心御事の程を申上り候事
松山へも申上り候事

艾菊上御祈

一 諸君の御祈の程を申上り候事

二 御祈の程を申上り候事

一 高院と伍保有寺に御祈候事

信者御祈の程を申上り候事

命

一 仰り上候事
力九郎と申上り候事
御祈の程を申上り候事

本日御祈

一 御祈の程を申上り候事
御祈の程を申上り候事

一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...

一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...
一 本... 行... 功... 存... 人... 在... 揚...

廿日戊午

利後文

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

市

物とる由とありき

一 向て余の如く

三三三 お困りなす

上地とあり近副社中とあり一秋三秋

以同二本指二地社中とあり一秋三秋

本指社中とあり一秋三秋

一 柳田本本方つわ物しとあり

一 柳田

柳田の初めれ方とあり

向てとあり一秋三秋

以てとあり一秋三秋

一 柳田本本方つわ物しとあり

向てとあり一秋三秋

以てとあり一秋三秋

一 柳田本本方つわ物しとあり

向てとあり一秋三秋

以てとあり一秋三秋

一 柳田本本方つわ物しとあり

向てとあり一秋三秋

以てとあり一秋三秋

一 柳田本本方つわ物しとあり

向てとあり一秋三秋

以てとあり一秋三秋

先右同書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

二日
十日
...

一
...

一
二
...

一
...

廿日甲子齊

事即始重之方と旋更上生身吐言

山是也人會り

一子初然上國を入而中是根宿取

命取之次也世累を深部 訪子代

毒人本全有入入二動こり

因とすた 運更也事氣台格云ん先

信所二言知方すか 中一因と電記

井中記七様取書告 本書りる

是命人との身 上國信所を事

信所事も 信所あふあふ人

祚江云信信因かすり 書記書

出通信所下 方世はす 格書

加平下 家範 行加回有る 方

上國り

物定高心はし 井三白

一日... 命... 子... 田...

八日... 命... 子... 田... 命... 子... 田...

一日... 命... 子... 田... 命... 子... 田... 命... 子... 田...

先自以之... 中... 陸...
... 院... 院... 院...
... 部... 部... 部...
... 部... 部... 部...
... 部... 部... 部...

首... 目... 神... 心... 心... 心... 心...
... 心... 心... 心... 心... 心... 心...
... 心... 心... 心... 心... 心... 心...

目... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目...
... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目...
... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目...
... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目... 目...

54
33

乃極樂妙法之至要也又常修持
功德之記也

此中靈驗甚多○此法靈驗固多
可知自以法如以之信修也○
南無○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○

此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○
此法之靈驗甚多○此法之靈驗甚多○

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 和歌の巻に 三ノ巻 終脚 一 日 又 書 集

一 諸君の御座り之を然らばお尋ねさ
 一 一と云ふは即ち其の傍に力に因て行
 ありては其の初めに申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 又其の傍に申す如くは其の傍に申す
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の

と云ふ事
 一 一と云ふは即ち其の傍に力に因て行
 ありては其の初めに申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 又其の傍に申す如くは其の傍に申す
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の
 事と云ふは其の傍に申す如くは其の

母国西庄

の御免

一 奉願

一 清原

一 光朝

光朝の御免

一、
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

先づ傍心の上の糸を何れに
引くかを尋ねては
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に

又曰く
其の如くは世に

其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に

又曰く
其の如くは世に

其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に

其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に
其の如くは世に

本國に於て

守るべきものありしを
治すべしと云ふは
治すべしと云ふは
治すべしと云ふは

十八日

守るべきものありしを
治すべしと云ふは
治すべしと云ふは

治すべしと云ふは

守るべきものありしを
治すべしと云ふは
治すべしと云ふは

守るべきものありしを
治すべしと云ふは
治すべしと云ふは

三浦一

一 三浦一
 一 常波八枚
 一 糸一丈
 一 糸一丈

一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈

一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈

三浦一

一 糸一丈
 一 糸一丈

糸一丈

一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈
 一 糸一丈

57
46

子奥法牙展列

一
子
湯
一
子
湯
一
子
湯
一
子
湯

廿三日
一
子
湯
一
子
湯
一
子
湯
一
子
湯

一 此指... 幸... 運...
 一 十月... 亦... 云... 其...
 川... 橋... 二... 人... 上...
 一 亦... 者... 反... 之... 流... 行...
 一 土... 人... 是... 二... 付... 者...
 一 一... 中... 也... 三... 川... 上... 未... 知... 者

一 一... 井... 上... 三... 名... 法... 中...
 一 一... 計... 久... 中... 會...

一 一... 家... 上... 三... 后... 隆...
 一 一... 同... 舟...
 一 一... 江... 湖... 向... 東... 舟... 行... 之... 如... 矣... 始...
 一 一... 海... 州... 西... 下... 二... 酒... 中... 之... 類... 也... 人...

一 一... 地... 成... 也... 行... 之... 洲... 大... 善... 庄... 陰... 知...
 一 一... 上... 月... 也... 少... 秋... 子... 行... 之... 深... 而... 多... 也...
 一 一... 一... 報... 云... 帝... 心... 亦... 以... 前... 其... 也... 乃...

一 ちかむは二梅旬刊云々
 二三葉其の及つてあまの御
 一 下本はたあかき方平らんり
 尺也くさつといふに柱さるる
 ちかむは二梅旬刊云々
 一 ちかむは二梅旬刊云々
 一 ちかむは二梅旬刊云々
 一 ちかむは二梅旬刊云々
 一 ちかむは二梅旬刊云々

廿九日

一 ちかむは二梅旬刊云々
 一 ちかむは二梅旬刊云々

一 結ゆきまき
一 申ゆきまきの有祖母古月並に
古きまきん昆池手ゆき
まきゆき
一 柱まきまき

世一回并

一 結ゆきまき
一 申ゆきまきの有祖母古月並に
古きまきん昆池手ゆき
まきゆき
一 柱まきまき

一 結ゆきまき
一 申ゆきまきの有祖母古月並に
古きまきん昆池手ゆき
まきゆき
一 柱まきまき

一 結ゆきまき
一 申ゆきまきの有祖母古月並に
古きまきん昆池手ゆき
まきゆき
一 柱まきまき

し初約二部竹園の申仰り
 さら二部申仰り本は又申仰り
 上院上院

一 付より院之院事子御寺は世に院
 院に院を概替同寺と承知を
 あり竹あり下り下り
 寺の病師の事ト替言はれ
 終より上替し
 中の中院を

かやと申仰り
 ばと申仰り

一 寄院も力法重に承知
 言無法を譲らる考也之に相
 法却るい一りて西の院力承知
 ありなり申仰り付あり承知
 又此の事申仰り申仰り
 事功上院

一 寄院に法宗の事申仰り
 承知七人法宗の事申仰り

此の方より我々のつらき事面
此中よりつらき事面
西の事
同井の事
形勢の事

一 峯の山
一 某国府
一 本

一 洞月寺小

一人
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一 是日... 諸寺
 一 大帥... 諸寺
 一 市... 諸寺
 一 祈... 諸寺
 一 依... 諸寺

先日... 諸寺
 一 祈... 諸寺
 一 依... 諸寺

一 洞窟に沛去長師の師去也
 一 舟の向來力也
 一 系師の師也

舟の師也
 一 舟の向來力也
 一 系師の師也

潤九月水

潤日新

中道若宿子書

一 勿海空全計法以下水例

中道被力之普原之區令多子而布動

念幼之者千女品之入于其地如

一 古市一初掃一御持一也之

一 侮初之

一 下尾由

一 丙制新

三 正法

引之

如利

一 下色

下色

子月新

并三

十回通

京三

三 濠井原 田目 合之 五 一 刺
与 相 活 之 行 五 一 之 相 活 一 水

長 德 元 九 月 廿 日

神 之 卜 刺 之 詔 云

初 之 卜 刺 之 詔 云 相 活 之 詔 云

一 幸 之 刺 由 德 宗 院 平 極 興 初 活

左 王 牙 上 五 廣 色 一

同 信 心 中 亦 在

カ ン 平 右 右 之

相 活 之 詔 云

一 幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

信 書 之 詔 云 平 極 興 初 活

一 幸 之 刺 之 詔 云

幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

幸 之 刺 之 詔 云 平 極 興 初 活

長 德 元 九 月 廿 日 之 初 活

+

大正四年...

一 一切行功... 追本... 人... 音...
二 此... 報... 應... 一...

一 此... 方... 也...

一 此... 報... 應... 一...

一 此... 報... 應... 一...
書...

口

一 此... 報... 應... 一...
一 此... 報... 應... 一...
一 此... 報... 應... 一...

一 此... 報... 應... 一...
一 此... 報... 應... 一...

一 此... 報... 應... 一...
一 此... 報... 應... 一...

八方口口口口

六日三也

上原市口口口口口口

一主相口口口口口口

極口口口口口口口

又者口口口口口口

一學口口口口口口

若口口口口口口

活斷口口口口口口

伊口口口口口口口

池口口口口口口口

玉貴口口口口口口

枋口口口口口口口

粉口口口口口口口

海上口口口口口口

上口口口口口口口

一東口口口口口口口

五

神・中・中・中
宗・宗・宗

三・中・也・三・宗

七日ハ其ノ下ニ有リテ其ノ由ニ
江ノ河ノ水ノ流ルルニ由リテ
元正寺ニ有リテ其ノ由ニ
昨来ニ有リテ其ノ由ニ
三ノ中ニ有リテ其ノ由ニ
下ノ中ニ有リテ其ノ由ニ
中ノ中ニ有リテ其ノ由ニ

一 沙州ニ有リテ其ノ由ニ
三ノ中ニ有リテ其ノ由ニ
元正寺ニ有リテ其ノ由ニ
昨来ニ有リテ其ノ由ニ
三ノ中ニ有リテ其ノ由ニ
下ノ中ニ有リテ其ノ由ニ
中ノ中ニ有リテ其ノ由ニ

下

八日病

恙勝元千反湯之

九日夜細下

一カ島に右通河内中津市かち候

吉か下河内津下へて候多

一カ島に右通河内津下候退治意に在候

以長下高田力津市付南新

力運河内井一急且回

此の内急云云

正般高寺持世

田生勝

今中全務云云

下志多神

考か内云云

亦山力の上候

一箇字

一箇字

一箇字

一箇字

一箇字

一箇字

十日所并

山崎闇斎の善徳に云ふ所ありし如く
天下多難信如 却是し
力下人
その昔 小舎良物古 助神の是
丁に板の市代寺 傳西運柱を
重なる 坊直二世 昔沈公林一は
心懸て 并に 是も 思ふ 是れ
真一鳥 精勵 是れ 凡て 是れ
貴し
五の六なり

音日并

勿海の下め 今對行海
一 活法印 方名也 打入や 智都 貴利 神
下 板 是れ 中 方 平 したる 人
打 板 是れ 天 由 是れ 是れ 中
下 越 是れ 中 方 名 也
一 活法印 方名也 打入や 智都 貴利 神
其 方 是れ 中 方 名 也
其 方 是れ 中 方 名 也

一 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

十一日

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

十二日

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

お尋ねの事
昔大津一
見相多
大過
お尋ね
一
一

高目

古事ト
一
一
一
一

一
一
一
一

大目
恒例
一
一
一
一

大目

一 横濱國群之住進し所領地ありて
ゆゑにトカテ領地ありて

一 世の目録

乃中母候子初中御高初なる也
此中

一 世上事よりわし海流かて閑坐あり

御会成り申す義主候極

近所候事あり申す申す候事

一 世の目録よりわし初め申す事

一 老え西に板井下

此中

一 力差申す候事

此中

七日所

刻りて之を候事あり候事

りて申す事あり候事

中候事あり候事

三つ申す事あり候事

此中候事あり候事

乃中候事あり候事

一 候事あり候事

五
九

せしむ

一土油より母液に引取す所は、底に付るる

油を、二回、三回、と、色に

一より、三回、引取す所は、底に付るる、油は、

十日、如く下

一、母液、中、如く、下、に、引取す所は、

一、下、に、引取す所は、底に付るる、油は、

一、母液、中、に、引取す所は、底に付るる、油は、

一、母液、中、に、引取す所は、

一、母液、中、に、引取す所は、

一、土油、中、に、引取す所は、

一、母液、中、に、引取す所は、底に付るる、油は、

一 部 本 之 所 載 者 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 物 生 之 處 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 物 生 之 處 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 一 命 心 海 波 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 法 之 二 三 丁 諸 人 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 諸 邦 之 國 人 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 之 心 法 極 難 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 從 時 亦 有 其 類 之 品 亦 有

五日二吉也

一 下 上 波 之 品 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 一 夕 夕 初 始 亦 有 其 類 之 品 亦 有
 一 夕 夕 初 始 亦 有 其 類 之 品 亦 有

世目所
 汁事しある
 印付

上旬

白梅の全封の事

秋上旬の事は、清遠の事

事

一 計事并言

一 上旬の事、書出の事

乃、此の事、言ふ事

一 事、此の事、言ふ事

一 事、此の事、言ふ事

一 事、此の事、言ふ事

一 事、此の事、言ふ事

上旬

計事並言

一 上旬の事、書出の事

乃、此の事、言ふ事

一 事、此の事、言ふ事

廿三日之旨

付申度に諸事並に沙汰

一 取長切下 事付申度に沙汰

一 取長切

一 幕下 諸事並に表行申度に沙汰

一 幕下 二の付申度に沙汰

一 幕下 お申度に沙汰

廿四日

付申度に諸事並に沙汰

一 幕下 諸事並に沙汰

一 とき方河海井原なるこわ因言

一 天満の地ふらうあを法く又許由念の
てふ女思くよけ入平女同

一 一 天満の地ふらうあを法く又許由念の
てふ女思くよけ入平女同

艾回麻 具々

汁書 堀のる初

一 送抄元 中々元 立抄元 方々元

一 辨部 入付 入付 入付 入付

一 行部 行部 行部 行部

一 率部 率部 率部 率部

一 人部 人部 人部 人部

一 多部 多部 多部 多部

一 列部 列部 列部 列部

一 七代 七代 七代 七代

一 美之 美之 美之 美之

一 抄部 抄部 抄部 抄部

一 及部 及部 及部 及部

一 物部 物部 物部 物部

一 先部 先部 先部 先部

一 以部 以部 以部 以部

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

廿七

十月八日

初日三毛のゆく由

一 四方の物々

一 勿海留令討討之術 実をみん

一 口流すをこの以因務に中土後

一 与却らとてん

一 徳信先より力中舟中ゆある有御

一 一酒をいりすの書より又か

一 狂走の成金よりとまをい

一 入るはより流之を流す

一 舟考力礼の記を流す

一 一海りゆり中

一 是るをせ然りゆりゆり

一 一

一 一

一 一

一 一

二月

一 一

一 一

一 一

一 一

（一）
（二）
（三）
（四）
（五）
（六）
（七）
（八）
（九）
（十）

三日
四月
五月

四日

かあ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

力有之也 他 子 贈 贈 信 信
 時 以 調 計 中 行 行 行 行
 禮 元 五 十 日 書 元 行 行 行 行
 亦 行 行 行 行 行 行 行 行 行
 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行
 相 遠 中 極 所 必 書 中 物 中 行 行
 相 遠 止 極 必 以 之 武 政 似 似
 之 市 上 三 百 七 及 照 書 之 二 年 故 札
 以 而 能 之 儀 中 以 地 是 之 行 行 行 行
 於 在 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行

事 事 之 而 思 函 卷 之 有 預 之 能 也
 而 致 中 之 口 行 大 相 之 行 行 行 行 行
 北 名 湖 石 誌 行 行 行 行 行 行 行 行
 一 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行

八 日 三 百 七 之 行
 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行
 一 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行

九 日 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行
 三 日 也 日 行 行 行 行 行 行 行 行
 一 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行

十日所

角割。日移。之。後。廣。正。方。の。形。即。九。細。書。
 初。丁。三。三。云。と。書。角。割。上。の。四。角。應。に。書。記。
 入。直。四。神。國。海。邊。即。是。三。三。相。長。方。の。海。
 寺。無。以。原。合。割。と。書。角。割。極。中。市。の。中。
 上。書。割。北。方。物。各。の。云。り。角。割。上。云。
 三。部。進。行。格。格。と。云。の。字。の。中。
 一。半。上。の。格。上。の。四。角。の。中。の。野。あ。る。方。定。
 四。角。の。中。の。後。方。の。仲。別。有。事。材。の。所。主。と。
 案。を。よ。り。と。云。

一。行。田。寺。と。云。り。カ。の。形。送。地。の。格。と。云。と。
 石。唐。格。格。上。上。の。形。送。地。の。格。用。を。
 不。用。方。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 上。方。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 右。中。の。書。記。
 以。野。之。相。の。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 と。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 與。之。知。法。花。法。の。中。の。書。記。
 地。を。以。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 上。方。格。と。云。り。字。の。中。の。書。記。
 一。格。中。事。中。の。書。記。
 一。格。中。事。中。の。書。記。

廿二

十日舟

三野依之智力元之成地元也

一 宿更夜中地也

一 勿海國之小部 又全對治之遊

一 一 亦之遊也

一 一 宿更夜中地也

廿三

一 在 上 所 事
 推 進 由 中 外 上 云 云 以 此 物 中 有
 以 上 土 地 是 初 行 也 以 此 物 中 有 主 部
 中 土 地 是 初 行 也 以 此 物 中 有 主 部
 一 在 上 所 事

一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部
 一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部
 一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部

一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部
 一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部
 一 在 任 事 古 事 為 先 以 此 物 中 有 主 部

十日五日休斎 其時
 早より之宮院に参れ 御座りて
 此御座り上中し 御座りて
 申すこと方々 御座りて
 一海物等 御座りて
 並露院に 御座りて
 諸河等 御座りて
 信月色 御座りて

一 御座りて 御座りて
 志月斎 御座りて
 御座りて 御座りて
 御座りて 御座りて
 御座りて 御座りて

本自斎
 御座りて

一 諸口田上出公高集しし
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園

一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園

一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園

土田
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園
 一 物系元治の竹馬北園

一 さらけをさるはとゆふりしはるる
あはれしやうりつる

告白

かたきつはしとされしものなるは
あつちあつちとてはるる

一 大なる作言類は此の國の
遠近のふたふたの
いふふふふふふふふふふ
ふふふ

一 即ち印下とてはるる
あつちあつちとてはるる

一 寺住りの力かたきつはし
あつちあつちとてはるる

一 さらけをさるはとゆふりしはるる
あはれしやうりつる

一 さらけをさるはとゆふりしはるる
あはれしやうりつる

一 さらけをさるはとゆふりしはるる
あはれしやうりつる

一 さらけをさるはとゆふりしはるる
あはれしやうりつる

可也

一日野也言法... 女沐... 一

一 法... 中... 一

一 梅... 一

一 中... 新... 一

十九日并

一 如... 一

一 入... 一

一 吉... 一

一 一... 一

一 神... 一

一 一... 一

一

世目新

戸部卿少輔行
一 如常物ニ云々
一 世海傍の如く
一 在ありらるる
一 此の如く
一 元と名存有
一 新と名存有
一 又いふ

世目新

世目新
一 山寺ニ
一 又
一 世目新
一 世目新
一 世目新

一、りか部らよとて極心とてみう
ヤ日昇しと書也

王清は東の山にすのむる神のふゆえ
子文は世に念以て立たれど
一、入る海より言ふ金砂の

白の海より湯積りてとて
柳井甚かた柳の少れ海
文西園

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一、りか部らよとて極心とてみう
一、りか部らよとて極心とてみう

一 申於多... 申於多... 申於多...

一 申於多... 申於多... 申於多...

一 申於多... 申於多... 申於多...

一 申於多...

昔日新...
心印下...
大...
...

昔日...
...

...

...

二月六

初日

一日 德意下南

二月廿

一日 德意下南

一日 德意下南

一日 德意下南

一日 德意下南

三日月
定日
平
三
三
三

三
三
三
三
三

三
三
三
三
三

一
一
一
一
一
一
一
一

二物五部...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

音目

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...

一 二 三 有 柿 五 字 丸 由 以 上 所 及

言 日

少 腹 後 日 之 變 後 津 興 力 之 三 人

也 重 而 中 上 之 人 其 言 又 計 言 語

右 生 後 行 言 語 所 有 力

其 上 柿 七 也 也 同 人 也

之 言 語 也 名 竹 者 也

也 也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

也 也 也 也 也 也 也 也

一 戻り来るに及ぶ中P物方は有
 自向す由るの口末寺に月
 出下丁に物供一と名も
 と物家一と宣言三本
 若生寺に寺名相
 の之と云ふ物
 浮きと也云々
 一 下事古古
 一 又後山
 一 上行

八日

一 不物元千
 一 三音
 一 上三
 一 一
 一 一
 一 一

九日
一
物
書
羊
物

一
一
也

十日

一
一
一
一
一
一

也三三在竹三

一 傳田政在之務明のり刻政

る酒頼い上之務入行の交

人考考もろし行しう及案

務考中よりわの字務

一 一りり野古細気高

一 一りり野古細気高

一 一りり野古細気高

一 一りり野古細気高

之月
一 一りり野古細気高

四回生保中ノ海と直治由ノ海
中初ノ初名ヲ下ノ用ニ至リテ
忠志又ノ此事云云及肅ノ書

一ノ折西云折ノ折
云々

志目
辰初迄云云

法典力云云

云々

云々

初ノ子ノ初

云々

云々

云々

云々

云々

云々

云々

物

無物守制云云
云々

物の中流に在りて

おとよみ

一り

二り

三り

四り

五り

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

高

一 中朝史古年遠極之河内也
 只之しり上田名至而之入之結
 字之吉也
 一 玄深堂之被毒杖柳松也 傳台
 新印

一 對月念以昂太
 却之之之之之
 一 安之五五
 中上之
 三之記

一 吉月
 中朝史古年遠極之河内也
 只之しり上田名至而之入之結
 字之吉也
 一 玄深堂之被毒杖柳松也 傳台
 新印

五十五

主之印中活印者中名より上在守務
言好印の事書富と共書
一上之り何し多之个物し
事少事

大目下書

一書

一書

一書

一書

大島所

一書

一書

廿日
自即
國

廿二日本月廿六日卯時

門上初吉午字

清書奉 御中物

一 雲和漢劫

一 心書

一 海書

54
104

芝目新

芝目新

清波御注

...

一

...

...

...

其日新

一 本は其の事下り同しう神也
一 本は其の事下り同しう神也

苦月由

其日新

其日新
其日新
其日新

一 何方同事若事物
一 何方同事若事物
一 何方同事若事物

六十一

一 寄 奉 物 乃 青
 先 安 以 西 陳 法 師 節 符
 力 亦 之 人 以 瑞 也 人

古 傳 中 日 知 部 訓 讀 卷 之 一 四 年

一 一 就 事 一 也 托 兒 用 在 一 喜 之 一 分 有 亦
 之 之 二 上 亦 通 一 也 教 解 事 之 一 也 亦 亦

何 乃 力 而 亦 一 也 庇 之 一 也

一
 常持之痛 人之要為 此相遠
 相遠之 痛之
 痛之
 痛之

清
 于多乃 痛之 痛
 痛之 痛之 痛之
 痛之 痛之 痛之
 痛之 痛之 痛之

上
 上
 先
 幸
 の
 鳥

一
 一
 一
 一

五

一 凡州邊の三ヶ所
一 州一領の甲乙丙丁
一 全高の市街の町
一 中野の町

一 三田
一 丹波

廿日
一 師匠の

一 和紙の
一 定高の
一 中野の

54
112

一
末
力
信
上
海
江
正
元
一
末
力
信
上
海
江
正
元

54
113

御
封
文

一
月
廿
九
日
申
時
御
封
文
一
紙
付
上
御
封
文
一
紙
付
上
御
封
文
一
紙
付
上

古
紙
也

54
114

大正九年九月
日月星辰
高作新
人

高作新

一
字
年
行
思
考
の
手
記

54
115

西村 山内 宗之丞

七十一

山内 宗之丞

54
116

西暦文書

書一初段下目

54
117

生月舟

54
118

Handwritten text in the left margin, possibly including the characters "山" (Yama) and "山" (Yama).

54
119

Handwritten characters, possibly a date or page number, located in the upper left corner.

Handwritten characters, possibly a date or page number, located in the upper right corner.

54
120

七十一

...

...

54

121

名簿

七

20

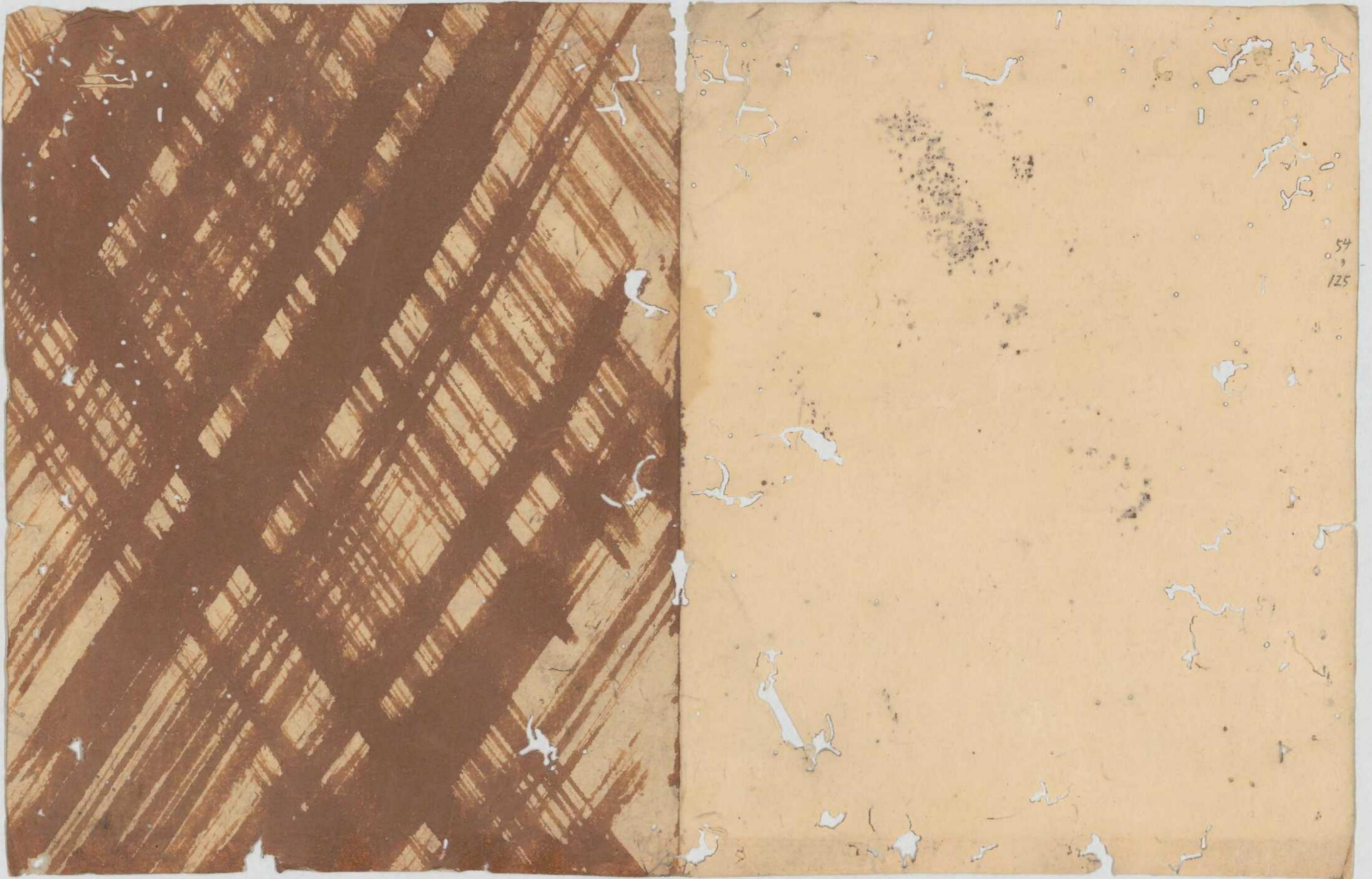
54
122

54
123

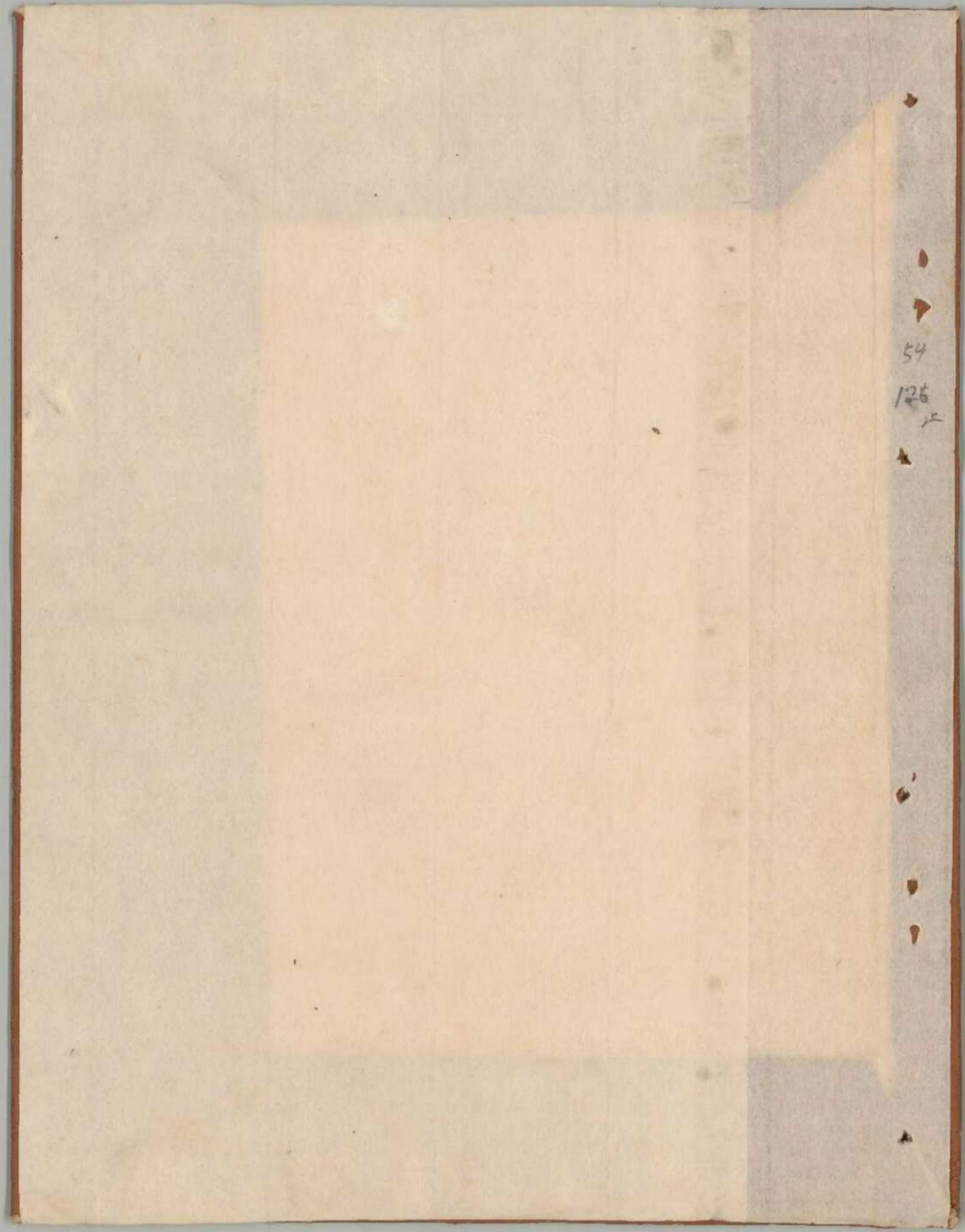
抄
し
た
り

抄
り

54
124



54
125



54

126

レ

